

2014年度 通期業績予想及び配当予想の修正について

2014年9月29日
住友商事株式会社

Topics

1. 2014年度 通期連結業績予想

2. 業績修正の要因となった主な案件

3. その他の資源大型投資案件の状況

4. 年間配当予想

5. 今後の対応

将来情報に関するご注意

本資料には、様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

1. 2014年度 通期連結業績予想

	(単位:億円)	2014年度 予算(5月)	2014年度 予想(9月)
当期利益 (減損損失計上可能性額を除く) ①		2,500	2,500
減損損失計上可能性額 ②		—	▲2,400
当期利益 ①+②		2,500	100

- ✓ 非資源ビジネスは概ね堅調に推移
- ✓ 大型投資案件において、2,400億円の減損損失の可能性あり

2. 業績修正の要因となった主な案件

(1) 米国タイトオイル開発事業 約▲ 1,700億円 減損損失見込み

- ▶ 北部地域: 開発難度が高く、採算性の確保が困難 → 売却方針
- ▶ 南部地域: 現時点では保有継続予定

(2) 豪州石炭事業 約▲ 300億円 減損損失見込み

- ▶ 石炭価格下落

(3) その他 約▲ 400億円

- ・ ブラジル鉄鉱石事業 約▲ 500億円 ▶ 鉄鉱石価格下落
- ・ 米国タイヤ事業(TBC) 約▲ 200億円 ▶ 小売事業不振
- ・ 税効果等 約 300億円

3.その他の資源大型投資案件の状況

■ マダガスカル ニッケル事業

- 60%程度の操業率を安定的に達成
- 完工に向け、着実にランプアップ中

■ インドネシア 銅開発事業

- インドネシア政府より輸出許可を取得、輸出を再開
- 年内のフル操業に向け、ランプアップ中

4. 年間配当予想

2014年度 配当金

中間配当金 : 公表予想どおり25円

期末配当金 : 下期の業績動向を踏まえ決定

	2014年度 期初予想	2014年度 見通し
配当金 (中間／期末)	25円／25円	25円／未定

※配当金は全て1株当たりの金額

5. 今後の対応

- 資源投資戦略の抜本的見直し
～タスクフォースの設置
- リスク管理体制の再強化
～経営改革特別委員会の設置



住友商事株式会社